

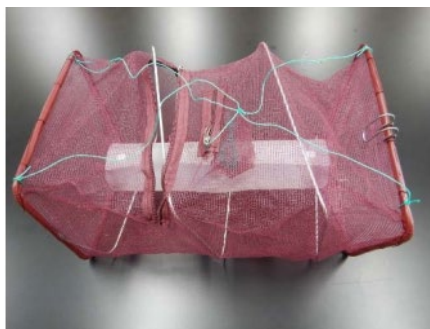
漁具の特徴

- 各漁具の特徴や捕獲したい個体サイズ、作業コストなどを踏まえて、効果的な漁具を選びましょう。複数の漁具を組み合わせることで捕獲の効率が高まります。
- 都道府県が定める漁業調整規則で禁止・制限されている漁具等を用いる場合、都道府県知事による特別採捕許可を受ける必要がありますので、事前に、都道府県の関係窓口(水産部局)に必ず確認しましょう。

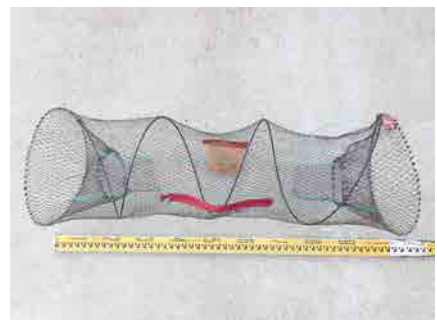
カゴ網



角型カゴ網



角型カゴ網(改良型)
(アタッチメント付カゴ網※1)



あなごカゴ



かにカゴ

特徴

- 大型個体の捕獲に最適
出入口にネットを付けることで
小型個体も捕獲可能
(手引の第3章参照)
- 誘引用の餌が必要
- 設置後、翌日に回収が必要
- 1週間に1~2回程度の設置が
より効果的
- 通信販売等で入手が容易

※1 アタッチメント付カゴ網のアタッチメントは、岩手県立大学が開発し、特許を取得しています。(特許第7807072号、令和8年1月19日登録)。同じものを使用したい場合、非営利の活動での使用は特に制限はありませんが、営利目的で作製・使用する場合は必ず事前に下記まで相談してください。

【問合せ先】
岩手県立大学 研究・地域連携室
メール: chizai@ml.iwate-pu.ac.jp

連続捕獲装置 ※2

明室
(餌で誘引)

暗室
(誘引した個体を捕獲)



漁具の長さ:約150cm

連続捕獲装置(タイプ①)

明室
(高密度メッシュのカゴを使用し、
タイプ①よりも暗い。)



漁具の長さ:約105cm

連続捕獲装置(タイプ②)

※2 「NPO法人シナイモツゴ郷の会」が特許を取得しており、同団体から購入するか、複製する際は同団体へ問い合わせる必要があります(手引の第7章参照)。

特徴

- ため池では捕獲効率が最も高い
- ①は特に全長75mm以上の
個体の捕獲に最適
- ②は全長75mm以下の
個体の捕獲に最適
- 誘引用の餌が必要
穴開きのプラスチック製密閉容器
に入れると餌が長持ちする。
- 回収頻度は1~2週間に1回程度

トラップ式漁具(カゴ網、連続捕獲装置)に入れる餌

- アメリカザリガニを誘引しやすい餌として、釣り用の練り餌、魚類飼育飼料、ドッグフード等が適しています。
- 餌は定期的に補充や入替えが必要です。茶こし袋や穴を開けた容器に入れると長持ちさせることができます。

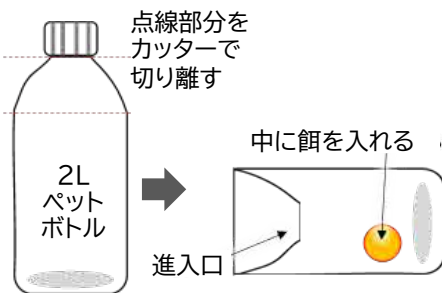


餌を茶こし袋に入れて
水質悪化を防止



四方に穴を開けた
プラスチック製密閉容器

ペットボトルトラップ



ペットボトルトラップの作り方

特徴

- 初心者でも扱いやすい大きさ
- 浅い場所にも設置可能
- 誘引用の餌が必要
- 廃棄ペットボトルを用いるため安価に作成可能

人工水草



特徴

- 小型個体の捕獲に最適
- ノリ養殖網を用いて自作可能
- 餌不要
- 駆除効果を維持するために、ゴミや落ち葉等の定期的な除去が必要
- 回収頻度は2週間に1回程度

人工巣穴



(写真: 愛知県農業総合試験場提供)

特徴

- 抱卵雌・抱稚仔雌の捕獲に最適
- 水深が浅くても設置可能
- 塩ビ管を用いて自作可能
- 設置後、翌日に回収が基本
- 餌不要かつ設置期間は任意で設定可能なため、週に1~2回程度の回収でも可能
- 回収は日中のなるべく早い時間帯が望ましい。

タモ網



サデ網



特徴

- 小型個体の捕獲に最適
- 誰でも使えるが、捕獲効率を高めるには捕獲技術が必要
- 作業労力は大きい
- 1週間に1~2回程度の作業が効果的

ため池の場合

水際の植生帯、樹木の陰、緩やかな流れのあるところ(流入部や余水吐の近く等)にトラップ式漁具を設置すると効率よく捕獲できます。

漁具	ため池での適用性	
カゴ網	◎	陸上から設置・回収が可能な点から適する。
連続捕獲装置	◎	陸上から設置・回収が可能で、捕獲効率が最も良い。
ペットボトルトラップ	△	ため池の規模によっては数多くの設置が必要という点で効率が悪い。
人工水草	◎	陸上から設置・回収が可能な点から適する。
人工巣穴	○	抱卵雌を効率よく駆除可能。
夕モ網・サデ網	△	ため池は安全な浅場が少なく、駆除作業が困難なことが多い。

凡例 ◎:とても適している、○:適している、△:条件によっては適さない

ため池での漁具の効率的・効果的な設置場所



A.水際の植生帯
(ヨシやマコモ等)



B.樹木によって陰が
形成されている場所

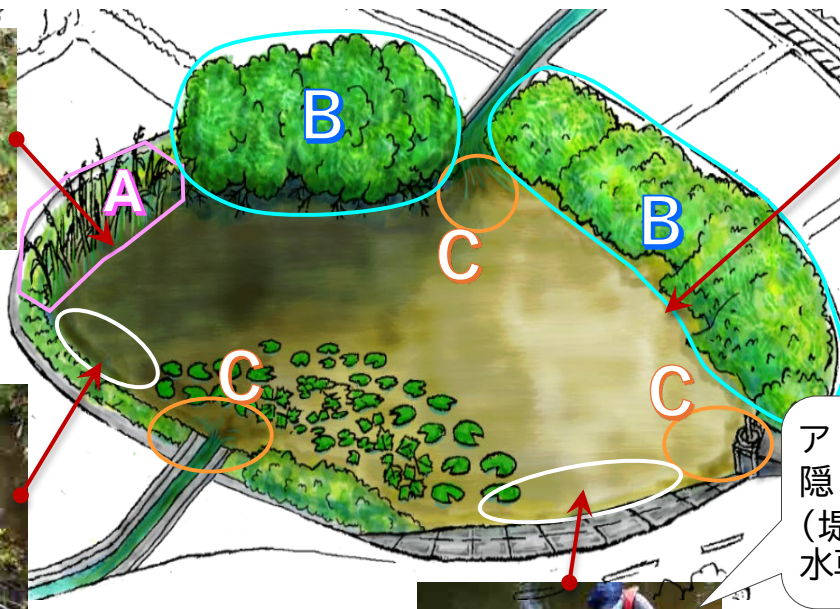


C.緩やかな流れがある場所
(流入部や余水吐の近く等)

水際の植生帯や樹木の陰、緩やかな流れがある場所ではカゴ網や連続捕獲装置が効果的



カゴ網



連続捕獲装置



夕モ網

立入可能な深さであれば、岸際の堆積物の多い場所で夕モ網を用いることも可



人工水草



アメリカザリガニの隠れ場所がない環境(堤体周辺等)では人工水草も効果的

ため池での作業の留意事項

- ◆ため池内は護岸部がすり鉢状となっており、池の中に落ちた場合、自力で這い上がることが困難です。
- ◆ため池内に立ち入る時は、必ずライフジャケットを着用し、二人以上で作業を行きましょう。

用排水路の場合

水路内の流速と水深の状況によって効果的な漁具が異なります。うまく使い分けましょう。

漁具	水路での適用性
カゴ網	○ 漁具の入り口と誘引餌が十分に水中に浸る水深があり、流れが緩やかな場所であれば設置可能。
連続捕獲装置	○ 漁具の入り口と誘引餌が十分に水中に浸る水深があり、流れが緩やかな場所であれば設置可能。
ペットボトルトラップ	○ 餌が水中に浸る水深があれば設置可能。本体が軽く流されやすいので、紐等でしっかり固定する。
人工水草	○ 全体が水に浸かり、流れが緩やかな場所であれば設置可能。
人工巢穴	○ 水深が浅く、流れがごく緩やかな場所であれば設置可能。
タモ網・サデ網	◎ 水路内のゴミ等とまとめてすくい上げることで効率よく駆除可能。

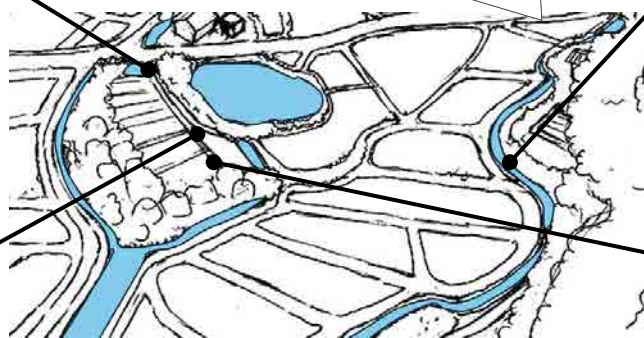
凡例 ◎:とても適している、○:適している、△:条件によっては適さない

用排水路での効率的・効果的な設置場所



構造物の陰(タモ網)

山からの染み出し水等で一年中通水している水路区間があれば、優先的に漁具を設置するとよいでしょう。



用排水路内(あなごカゴ)



集水ます(あなごカゴ)



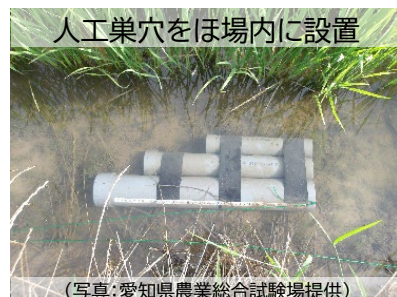
堆砂部など(タモ網)

水田の場合

設置可能な漁具は限られます。営農作業に支障のない場所に設置しましょう。

漁具	適用性
カゴ網	△ 設置に必要な水深が足りない場合が多い。
連続捕獲装置	△ 設置に必要な水深が足りない場合が多い。
ペットボトルトラップ	◎ 浅い水深でも設置可能であり、捕獲効率も良い。
人工水草	△ 設置に必要な水深が足りない場合が多い。
人工巢穴	◎ 浅い水深でも設置可能。抱卵雌を効率よく駆除可能。
タモ網・サデ網	△ 浅い場所に集まった小型個体をすくい上げることは可能。

凡例 ◎:とても適している、○:適している、△:条件によっては適さない



人工巢穴をほ場内に設置

(写真:愛知県農業総合試験場提供)



ペットボトルトラップと買物カゴを組み合わせた装置

(写真:愛知県農業総合試験場提供)

アメリカザリガニの体サイズ・生活史に応じて、いくつかの漁具を組み合わせたり、適切な時期に駆除を行ったりすることで、捕獲効率を上げましょう。

※本図はほぼ原寸大です。

小型

頭胸甲長 7mm

中型

頭胸甲長 23mm

大型

全長・頭胸甲長とは？

頭胸甲長 (眼の後ろのくぼみから頭の甲羅の後端までの長さ)

全長 (体を伸ばした状態で、頭(額角)の先端部から尾(尾扇)の後端までの長さ)

10円玉 (直径23.5mm)

見本

注	全長	13mm	20mm	32mm	47mm	59mm
	頭胸甲長	4mm	7mm	12mm	18mm	23mm

注: 数値は写真の個体の実測値です。

サイズ区分	小型・中型個体 (頭胸甲長23mm未満)	大型個体 (頭胸甲長23mm以上)	抱卵個体 (頭胸甲長27mm程度以上)
漁具	<ul style="list-style-type: none"> タモ網・サデ網 人工水草 あなごカゴ(改良あり)※手引の第3章参照 連続捕獲装置 	<ul style="list-style-type: none"> 連続捕獲装置 あなごカゴ カゴ網 (アタッチメント※p7参照の装着が望ましい) 	<ul style="list-style-type: none"> 人工巣穴
効率的な駆除のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> 特に繁殖盛期後(9月以降)に小型個体が増加するため、捕獲効率が高くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に春と秋の繁殖期(前後含む)に活動的になるため捕獲効率が高くなる。 通年で捕獲を行うことが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖盛期は9~10月で、抱卵個体は6月頃からみられる。 繁殖盛期に入る前(7~8月頃)からの設置が望ましい。

◆水田での防除の工夫

かんがい期

代かき前



水稻栽培期間中



(写真:愛知県農業総合試験場提供)

- 石灰窒素は、水稻のザリガニ防除に使用可能です。ラベルの記載内容を遵守して使いましょう。
- 人工巣穴やペットボトルトラップが有効です。

非かんがい期



- 畦塗りは既存の巣穴を塞ぎつつ畦の締め固めにより、新たな巣穴を抑制する効果が期待できます。

愛知県内のほ場でのアメリカザリガニ駆除に係る試験によると、以下のようなことが分かりました。

- 水田内の捕獲には人工巣穴が効果的であることが分かりました。
- 最大900個の卵を抱えていることもある抱卵雌や抱稚仔雌が多く出現する、9月から落水の時期までがより効率的であることが示唆されました。

(愛知県農業総合試験場の試験結果より)

◆用排水路での防除の工夫



集水ますや構造物の下などに漁具を仕掛けておきましょう。



アメリカザリガニの隠れ場になりうる堆積土や水草は、定期的に除去しましょう。



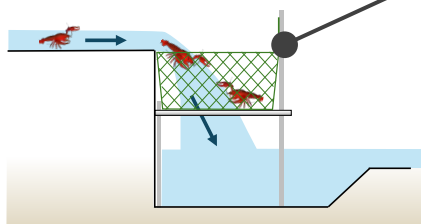
泥上げした泥の中にアメリカザリガニがいる場合、殺処分しましょう。

◆ため池での防除の工夫



非かんがい期の池干しは、アメリカザリガニを一斉に捕獲する絶好の機会です。

流出するアメリカザリガニ等を受け止めるネットや金網の設置。



水抜きの際は外来生物等の下流側への逸出防止に努めましょう。(例:ネットの設置)



池干し時は在来生物を一時的に保護し、池干し後に戻すことが望ましいです。

駆除効果の主な評価方法と評価結果の活用

- より効率的に駆除を行うため、駆除効果の評価し、評価結果を踏まえて活動内容等を適宜見直していきます。
- 評価方法は主に以下の3つがあり、単位努力量当たりの捕獲数(CPUE)を用いた数値的な評価方法のほか、生物の生息状況や水質の改善状況を用いたり、巣穴密度や堤体の損壊状況等を用いたりする定性的な評価方法があります。

評価方法①：単位努力量当たり捕獲数(CPUE = 捕獲した個体数 ÷ 捕獲努力量^{※1})を用いた評価

CPUEを用いてアメリカザリガニの低密度化の進行状況进行评估します。

●CPUEの算出例

例①(トラップ式漁具による駆除)

(※1) 捕獲努力量は、「設置した漁具数」を用います。

→10基のカゴ網を用いて30個体を捕獲した場合、 $30 \text{ 個体} \div 10 \text{ 基} = 3.0$

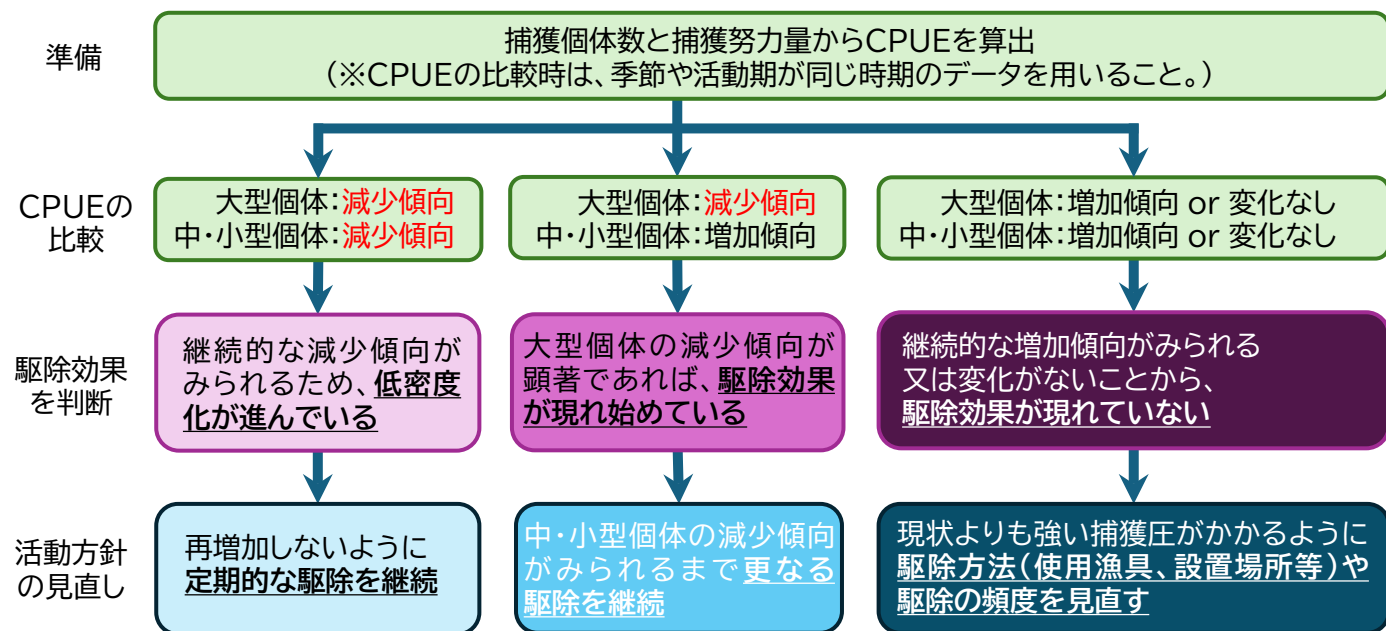
例②(直接捕獲型漁具による駆除)

(※1) 捕獲努力量は、「駆除作業時間」を用います。

→2人で30分間の駆除作業により10個体を捕獲した場合、 $10 \text{ 個体} \div 1.0 \text{ 時間}^{\ast 2} = 10.0$

(※2) 駆除作業時間は作業人員を考慮するため、 $2 \text{ 人} \times 0.5 \text{ 時間} = 1.0 \text{ 時間}$ となる。

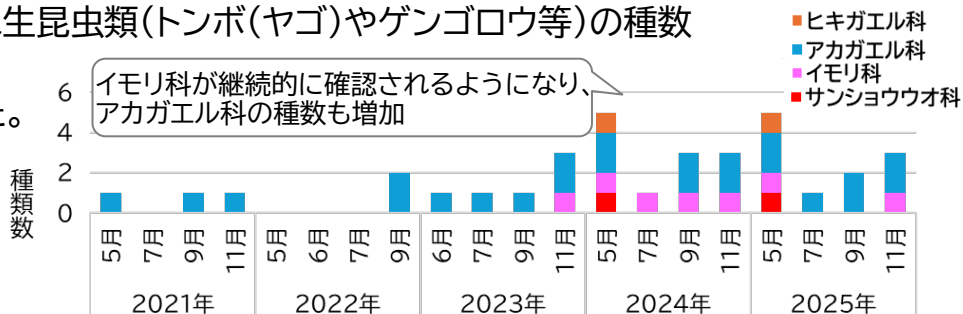
●CPUEによる評価と駆除内容の見直しの流れ



評価方法②：生物の生息状況や、水質の改善状況を用いた評価

生物生息状況等の以下のような変化からアメリカザリガニの生息密度の低減を推測します。

- 両生類(カエルやイモリ等)や水生昆虫類(トンボ(ヤゴ)やゲンゴロウ等)の種数や個体数が増加。
- 抽水植物が根付くようになった。
- 水の濁りが改善した。



評価方法③：巣穴密度や堤体の損壊状況等を用いた評価

ため池等の以下のような見た目の変化からアメリカザリガニの生息密度の低減を推測します。

- ①畦やため池の巣穴が減少 / ②水田の漏水箇所が減少 / ③畦上のチムニー※が減少

※巣穴の入口周辺にみられる塚状の土の盛り上がりを指す。

評価のためのデータや写真の記録

低密度管理に移行できるかどうかを判断するために、捕獲数のデータやため池の写真等を記録しておくことが望ましいです。



捕獲結果を記録する

アメリカザリガニ駆除 記録野帳

天候： 野帳の通しNo. :

調査場所 ●●●ため池

記録者：

No	漁具の種類	漁具No	採捕した生物	個体数	写真	備考(目視等)
1	カゴ網	①	アメリカザリガニ	20	✓	餌はドッグフード
2	カゴ網	①	モツゴ	1		
3	カゴ網	②	アメリカザリガニ	15	✓	餌はドッグフード
4	カゴ網	②			
5						

漁具ごとに捕獲できたアメリカザリガニの数を記入しましょう。

同じ漁具で他の生物が捕獲できた場合も記録しましょう。

駆除に用いた漁具を記載します。同じ種類の漁具を複数個用いた場合でも個々の漁具について分けて記録しましょう。

アメリカザリガニ採捕調査 (個体の測定)

No.	頭胸甲長(mm)	漁法	性別	セメント腺有無	備考
1	27	(カゴ)連続/入草/入巢/タモ	雄 / 雌	(有) / 無	
2	24	(カゴ)連続/入草/入巢/タモ	雄 / 雌	(有) / 無	
3	18	(カゴ)連続/入草/入巢/タモ	雄 / 雌	有 / 無	
4	18	(カゴ)連続/入草/入巢/タモ	雄 / 雌	有 / 無	
5	21	(カゴ)連続/入草/入巢/タモ	雄 / 雌	有 / 無	

人手の余裕があれば頭胸甲長も測っておきましょう。

記録野帳はここからダウンロードできます



写真や動画を撮影する

撮影場所と方向を決めて、できるだけ同じような見方で撮影しておくと比較がしやすくなります。



捕獲した個体は、漁具単位でまとめてバケツ等(逃げないように深めのもの)に入れ、定規と一緒に撮影しましょう。



池の透明度の変化や植生の回復状況は写真で判断することもできます。駆除前の写真も忘れずに撮影しておきましょう！